

令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(上柴中学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			数学			英語	
	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
上柴中	下回った	上回った	下回った	上回った	上回った	下回った	下回った	下回った
埼玉県	59.9	60.3	66.4	53.5	48.8	57.5	61.9	54.6

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			数学			英語	
	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
上柴中	7-B	8-C	8-A	6-B	8-C	8-C	9-C	9-B
埼玉県	7-A	8-C	9-C	6-B	7-A	8-C	9-C	10-C

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			数学			英語	
	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
上柴中		1	2		3	0		1
埼玉県	1	0	2	0	2	0		3

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの
 ※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	中1		中2		中3	
		上柴中	埼玉県	上柴中	埼玉県	上柴中	埼玉県
深谷の子どもの誓い	・将来の夢や目標を持っている	83.0	79.8	70.7	69.4	80.4	67.0
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	73.5	73.0	69.1	67.7	73.6	68.3
	・誰に対しても進んで挨拶をすることができている	85.7	84.7	89.4	83.0	83.8	85.3
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができている	93.9	88.7	94.3	89.9	95.9	92.5
	・相手の気持ちやその場の状況を考え、やさしい言葉遣いができている	91.8	89.6	91.9	88.2	95.3	91.4
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	50.3	46.0	47.2	43.5	47.3	43.8
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	68.7	68.6	72.4	65.9	75.7	71.8
学習策の関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	12.2	15.6	12.2	11.4	8.1	11.3
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	74.8	77.0	70.7	68.9	64.2	65.4
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	70.1	56.9	48.8	45.9	50.7	42.4
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	73.5	65.6	59.3	62.5	60.8	57.8
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	82.3	82.5	79.7	84.0	83.1	78.0
	・授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	国 8.8 数 7.5	国 22.7 数 19.7	国 6.5 数 91.9 英 4.9	国 16.2 数 17.3 英 21.3	国 11.5 数 83.8 英 23.6	国 16.3 数 16.4 英 25.2
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した			26.8	12.7	23.0	12.0
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	95.9	92.1	95.1	93.3	93.9	93.0
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	96	94.9	96.7	95.2	95.9	95.2
	・学級での生活は楽しい	92.5	92.4	92.7	93.7	94.6	92.1

【質問紙分析】

- ・全体的に概ね県平均を上回っている。学年が上がるほど意欲であったり、満足感が高い傾向にある。しかし課題解決の力や、学習への関心に対する項目では課題となっている部分がある。
- ・将来の夢や目標を持っていると答えた生徒が多く、深谷市の取組の一つでもある「夢・志宣言」を通し、将来への意識を高く持っていると考えられる。また、深谷の子6つの誓いの項目でもおおむねよく取り組んでいる成果が出ている。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・毎日の自学を担当がチェックをし、生徒への声かけを行っている。よくできているものは掲示し、学習の仕方や工夫をほかの生徒が見られるようにした。
- ・テスト前の学習の時間や内容などを記入し、終わってから振り返りができるようにした。

【国語】

- ・授業における言語活動を日常生活の言語につなげる→年間及び3年間を通して活動する場面を確認。
- ・自分の思いや考えを生徒同士で共有する時間を確保し、課題解決を図る活動をしている。
- ・単元の中で、必ず主題に関わる「書くこと」の時間を設定し、自分の考えや要約した内容を簡潔に表現する活動をしている。

【数学】

- ・生徒がタブレットを授業で日常的に活用することで、板書量やノートに書く時間等が削減される。その分、問題演習の時間を多く確保でき、知識技能の定着につながる。
- ・教員もICTを活用し、生徒の興味関心や思考力を高めさせる工夫をしている。(導入で授業内容に関する動画を流す、関数や図形でソフトを活用して見せるなど)
- ・授業内で自分の考えを相手に説明する機会を多く創出し、表現力の向上に努めている。

【英語】

- ・授業で「目的・場面・状況」を設定した言語活動を実施し、自己表現の場を作っている。
- ・ALTとの即興での会話場面を作り、その場で考え英語を使う機会を作っている。
- ・既習単語の小テストを行い、活用できる語彙を増やすようにしている。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・学びの補助となるように、タブレットを授業の中で効率よく使えるように工夫している。
- ・苦手意識の強い生徒には、スモールステップで成功体験を積みせ自己肯定感を高められるように声かけを意識的に行っている。
- ・学力が十分な生徒に対しては、同一課題でもさらに深化できる課題に取り組ませている。
- ・学習に不安がある生徒に対し、補習を行うなど支援を行った。